第3回 世界の氷河分布 提出用記入用紙

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 学籍番号 |  |

〇次ページの説明を読んで，次の表に，作業結果を記入して，下の表中の問いに答えなさい．

＊記入することで，表の大きさが変わったりページ数が増えたりしても構いません．

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 緯度帯（°） | 緯度（°′″） | 標高（m） | 地名（山脈，地域等） |
| 0～10 |  |  |  |
| 10～20 |  |  |  |
| 20～30 |  |  |  |
| 30～40 |  |  |  |
| 40～50 |  |  |  |
| 50～60 |  |  |  |
| 60～70 |  |  |  |
| 70～80 |  |  |  |
| 80～90 |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 問1：カール氷河が分布する緯度と標高との間には，どのような関係があるか？ |  |
| 問2：極地（70°より高緯度な地域）の平衡線高度はどのくらいであるか？ |  |

○作業内容：GoogleEarthProで世界のカール氷河の標高を調べる

〇手順：

①「地理学概論のページ」の「第3回 世界の氷河分布」の「Google Earth」と書かれた青いボタンをクリックする．

②そうすると，画面下部に，「開く」，「保存」等を問う画面が表示されるので，「開く」をクリックする．その画面が表示されずに，自動で保存されてしまった場合は，保存されたファイルを開く．

③そうして開いたGoogleEarthProでは．まず，下の図のような，アルプス山脈のカール氷河と谷氷河が表示される．ここで示された氷河を参考にして，世界の各緯度帯（10°間隔）でカール氷河を探して，カール氷河の中央付近の緯度と標高を調べて，上ページの表に記入する．標高を調べるには，まず，画面左下部にある「レイヤ」の最下部にある「地形」左の□をクリックして，チェックが入った状態（☑）にする．そうすると，カーソル位置の，緯度，経度，標高，高度（視点位置の高さ）が，画面下部に白字で表示されるので，緯度と標高（高度ではない）の値を読み取る．

④作成した表を基にカール氷河が分布する緯度と標高との間には，どのような関係があるか読み取り，上ページの表に記述する．

⑤上のような関係から，極地（70°より高緯度な地域）の平衡線高度はどのくらいであるかを推測して，上ページの表に記述する．

